



NO. 959
 発行
 2018年
 9月25日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 加藤 秀夫
 編集責任者
 教 宣 部



団体戦9位チーム打数376

9月10日(月)サンヒルズCC(宇都宮市)西コースで、第六回国労東日本ゴルフ大会が開催されました。

ゴルフでも奇跡を起こす

前日の前夜祭で新潟チームは永遠のライバル?秋田チーム不参加を知り、チーム内に軽い動揺が走りました。

キャプテンがチーム紹介時に「まずは昨年の最下位チーム新潟がとんでもないビッグマウス、申



し訳ありませんでした。しかし今年の野球大会同様に、ゴルフでも奇跡を起こす!」を宣言し、会場は大盛況でした。

13チーム・52名参加

参加チーム東京地本6チーム・各地本・エリア本部、合わせて13チーム総員52名が個人・団体戦で対戦しました。

新潟の選手団は、昨年11月に新潟地本協催のゴルフ大会でエリア

大会・出場権を賭けた?成績上位者1人と過去の実績者2人、引率者?1人を選出しました。

大会使用コース 難易度MAX

レギュラーティ使用ですが、フェアウェイは落とし所が狭く外すと深いラフがボールを包み込み、前日から雨で更に重くなり脱出が困難。

又、3・4ホールはグリー

参加選手

- | | |
|--------|---------|
| 長谷川喜美男 | 新潟運輸区 |
| 安川 覚 | 長岡保線技術C |
| 阿部 光晴 | 新潟駅 |
| 加藤 秀夫 | 新潟車両C |



ン迄向かって左側が池で遮られ視覚で選手にプレッシャーを与える。グリーン周りは刈込とラフで簡単にボールを載せられず、今夏の猛暑にも関係なくグリーンは速くグリーン上からのパットが傾斜と芝目でグリーンを飛び出してボールが止まってしまおう等、大会使用コース難易度MAXの設定でした。



安川副キャプテン 飛距離とショット力でパー

前夜祭の宣言から言い訳出来ない状況下の新潟は「ボギー狙い・ダブルOK、チーム打数400切り団体戦一桁順位」の目標を立て大会に臨みました。

大会連続出場、副キャプテン安川選手はスタート1・2#でボギーダブル、先々の立ち上がり。

4#パー3をアプローチで寄せ1のパーセーブ。

しかし5#で池、8#での第3打まさかのグリーンオーバーOBで痛恨の10打を叩いてしまいました。

しかし後半、13#16#パー5を持ち前の飛距離とショット力でパーセーブ。



10#17#パー4で3オン1パット執念のパーセーブ。前半の鬱憤と反省?を後半45で巻き返し、チーム打数400切りに貢献しました。

フェーダー阿部選手 復調感させる

昨年膝の故障で出場出来なかった、フェーダー阿部選手は、1#パー4を難無くパーセーブする好発進。

4#パー3でもパーセーブする今季の膝故障からの復調を感じさせる内容でした。

(裏につづく)



自分のゴルフを させてもらえない

しかし、難易度MAX設定で安川選手も嵌まった8#でWパーを叩き2・3・6#でも名門の洗礼を浴び前半は自分のゴルフをさせてもらえませんでした。



後半前の昼食時、ステーキとジョックで気合を入れ直し、10・11・12#を2ボギー・パーで乗り切りました。

前半48でチームを鼓舞

13#でトラブルショットで纏め後半48、個人目標は達成できなかったがチームを盛り立てるには十分な成績でした。

エース長谷川選手は10#ティショットを完璧な場所に打ったが、第2打はまさかのグリーンオーバーし、いきなりのWパー。

13#パー5でも難コース設定とグリーンに苦しみTボギーを叩いたが昨年の雪辱と経験を思い出したのか？

キャプテン加藤のコメント



まさか今大会で僕ベスト85が出せるとは夢にも思いませんでした。唯、今季の雨ラウンドでは2回共91・92でラウンドしているので「自分が我慢すれば其れなりに結果がついてくる」を信じて次の1打に集中したが、好結果に繋がりました。

又、同伴者長谷川選手からのアドバイス？もどきが自分の心地よい緊張と集中力を高めて頂き、結果としてチーム打数400切り貢献できました。

今回は引率者兼キャプテンでの出場でしたが次回は厳しい(笑)新潟での予選会、出場権をゲットし、堂々と出場出来るレベルに今後も努力、精進します。

最後に快く出場を引き受けて頂いた選手に感謝します。



11#ではミラクル・チップイン・パー浪煙を上げ、14#パー4と16#パー5ではパーディ逃しのパー、残りをボギー・ダブル上がり、前半48でチームを鼓舞しました。



奇跡の連続 加藤キャプテン

驚きはキャプテン加藤が放った「奇跡の連続」である。10#ティショットで林に打ち込んだが、4オン1パットのミラクル・ボギーで勢いに乗り14#までパー・ボギー・パーを刻みました。



後半は持ち前の技術と粘りで8#までパーセーブ4つを含む気迫のラウンドでした。しかし、9#で落とし穴に嵌り痛恨のTボギーを叩きましたが、後半44で新潟エースの活躍を誇示しました。

8#で安川選手・阿部選手が苦戦したホールをパーディチャンスに付



後半1#ティショット約2700ヤード飛ばし残り打ち下ろし約1000ヤードをベタピンに付け、望外のパーディ発進。
今日は自分の日だ
3#パー4でのティショットで池脇1Mで助かり、「今日は自分の日だ！」と気合いを込めた第2打をグリーンオンさせ、パーディ逃しのパーを刻みました。

嬉しさ通り越す

気が付いたら後半ダブルボギー無しのパーディ1・パー3つ他はボギーの40でラウンドし、ゴルフ人生キャリア・ハイ85をこの大会で出せた事に嬉しさを通り越して、帰りの車での事故を心配しました。



結果は団体戦9位・チーム打数376、個人成績は加藤選手が9位・エース長谷川選手が27位、チーム目標を達成する素晴らしいラウンドでした。

7回大会の会場は未定ですが、チーム打数360・6位以上を目指して頑張りたいと思います。

